

資源循環型施設建設に関する説明会 概要 【圏域②】

1 開催概要

開催日時	令和6年5月30日(木) 19:00~20:32	
開催場所	サントミュージゼ 小ホール	
出席者	住 民	38名(圏域住民35名、圏域以外3名)
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員13名
	報道関係	- 社

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	環境影響評価(調査方法)について	大気質と土壌汚染調査について、調査を行った時点で上田クリーンセンターは稼働していたか。	上田クリーンセンターが通常稼働している環境下で調査している。
2		大気質の調査項目において、水銀及びダイオキシンの状態は気体若しくは固体なのか。	水銀、ダイオキシンともに気体である。
3	環境影響評価(予測結果)について	拡散する際にその日の風向が関係してくると思うが、資料1の25ページ「煙突排ガスに伴う大気質予測結果」のように千曲川に沿った拡散だけでは済まないと思うが、どうか。	1年間の風向風速調査をもとにした拡散状況の予測である。 最大濃度となる地点においても、環境基準値を大きく下回る数値となっており、予測した全ての地点で環境に対する影響はほとんどないと考えている。
4		バグフィルタ※の手前で排ガスを冷却する際に、様々なものが微小粒子状物質にくっつくと考え、それらの拡散がどこまで及ぶのかももう少し検討してもらいたい。 ※ろ布と呼ばれるフィルターで排ガス中のダストをろ過するろ過式集塵機	煙突排ガスに伴う環境保全措置として、高温で燃焼をすること、急速冷却を行うことでダイオキシン等の有害物質の発生を抑制していく。最後に、ばいじん、ダイオキシン類等をろ過式集じん機により除去していく環境保全措置を実施していく。 ろ過式集塵機については、環境省で示している基準もあり、信頼できる確立された技術であると考えている。

No	項目	質問・意見等	回答
5	環境影響評価 (調査結果)について	現状のダイオキシンの蓄積は、上田クリーンセンターの影響ではないか。	<p>既に環境中にあるダイオキシンの由来を明らかにするのは、困難である。また、同じ敷地内でも土地の使用履歴などにより、測定場所で数値は異なるが、全ての地点で環境基準値を大きく下回っている。</p> <p>重要なのは資源循環施設の稼働によって有害物質が蓄積されないことである。</p> <p>周辺モニタリングの実施、施設からの排出時の自主基準値の遵守、監視などの対策により、公害防止について取り組んでまいりたい。</p>
6	ごみの減量について	<p>分別を完璧にすれば燃やすのはオムツだけになる。</p> <p>オムツだけならかなり少量の焼却で済むので、いわゆる生ごみの堆肥化も含めて燃やせるごみの量の減量を是非目指していただきたい。</p>	<p>可能な限り生ごみを燃やさないという大きな前提で地元の皆様と話し合ってきた経過があり、丸子地域塩川地区において、生ごみ堆肥化施設である、有機物リサイクル施設の整備を進めている。</p> <p>地元の皆様には大きな負担を担っていただいている歴史があるので、私たちもその気持ちに寄り添った対応をしていく。</p> <p>多くの市民の皆様、そして上田市のみならず東御市・長和町・青木村の皆様にも減量化は自分ごとだということを認識していただき、次の世代に向けて素晴らしいまちをつくっていけるよう、しっかり取り組んでまいりたい。</p> <p>(土屋広域連合長)</p>

No	項目	質問・意見等	回答
7	ごみの減量について	<p>ごみの分別について、色々な啓発活動をしているが、なかなか減らないのが現状である。</p> <p>資源循環型施設を建設することによって非常に良い時期が来ていると思う。</p> <p>新しい施設のことだけでなく、高度な分別や廃棄物の分散化を図りながら、市民の皆さんがごみの減量を自分のことだと考えながらやっていけば良いと思う。</p>	<p>資源循環型施設建設を契機に、さらにごみの分別や啓発活動に努めてまいりたい。</p>
8	その他 (事業計画)	<p>煙突排ガスについて、拡散・希釈したら、それで安全だという考え方は早計ではないか。</p> <p>施設から排出されないように配慮するべきではないか。</p>	<p>排ガスは、大気に放出され拡散・希釈される。</p> <p>濃度管理が大事であり、摂取量における人体への影響について、低濃度の方が影響は小さい。</p>
9	その他 (浮遊粒子状物質)	<p>浮遊粒子状物質にダイオキシン類などの物質が凝集されて、くっついていると思うがどうか。</p>	<p>ダイオキシン、水銀ともに浮遊粒子状物質に付着している状態のものもあると考えるが、焼却灰に、多く移行していると考えている。</p>
10	その他 (排ガス処理)	<p>排ガスの有害物質の除去については 100%の除去でないということの良いか。</p>	<p>100%ということではない。法的基準値を大幅に下回る自主基準値以下となる。</p>
11	その他 (モニタリング)	<p>施設から排出される排ガスのモニタリングについては是非とも煙道出口で測定していただきたい。</p>	<p>測定に関しては、今後地元の皆様と相談したうえで決めてまいりたい。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
12	その他 (行政の姿勢)	<p>今回の準備書の書類を縦覧したが書面ではしっかりできているが、現状の施設管理などは事業者任せではないか。</p> <p>環境影響評価もコンサルタント会社に丸投げにならないように是非お願いしたい。</p>	<p>今回の資源循環型施設についても、しっかりと運営していく。</p> <p>専門的な部分についてはコンサルタント会社に委託しているが、全体的な部分など、私たちがきちんと把握し、取り組んでまいりたい。</p>
13	その他 (ごみの分別)	<p>上田市の容器包装プラスチックの袋はすぐ破れてしまう。</p> <p>上田クリーンセンターに金属やガラス、プロパンガスボンベなどが持ち込まれるなど、管理が不十分な状況にある。</p>	<p>御質問の事項も含め、ごみに関する啓発や改善はしっかり行ってまいりたい。</p>
14	その他 (ゼロエミッション)	<p>分別やりサイクルによってゼロエミッションが達成できる。</p> <p>トップの意思をもって皆さんの力を活用しながら進めてほしい。(要望のみ)</p>	